

特集Ⅱ

平成28年中に発生した 長万部町の 交通事故を分析



ストップ・ザ・交通事故
いめさせ 安全で
安心な北海道

運転者は、車を運転する中で起こりうる状況を予測しながら危険を回避するように求められています。

しかし、交通事故の多くは運転者のほんのわずかな不注意によって発生し、予期せぬ悲劇を生んでいます。そして被害者になっても、加害者になっても、一瞬のうちに幸せな家庭を崩壊させてしまうのが交通事故です。

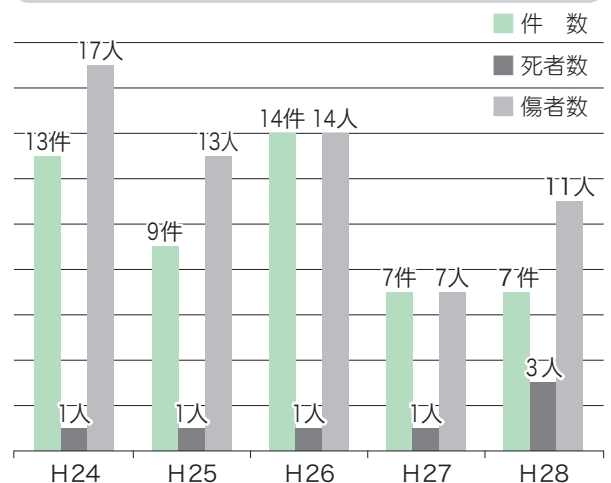
全国の交通事故死者数は、67年ぶりに4,000人を切り、北海道においても、交通事故死者数は昨年より、19人減少しております。

減少の要因は、道路交通法の改正、取締りの強化、交通安全教育の普及、自動車安全性の向上、見やすいLED信号機の整備、国道において正面衝突事故対策として、ランブルストリップス施工（舗装路面を削り、カマボコ状の凹型を連続して配置する）の整備、など複数の要因が重なり合っていると考えられます。

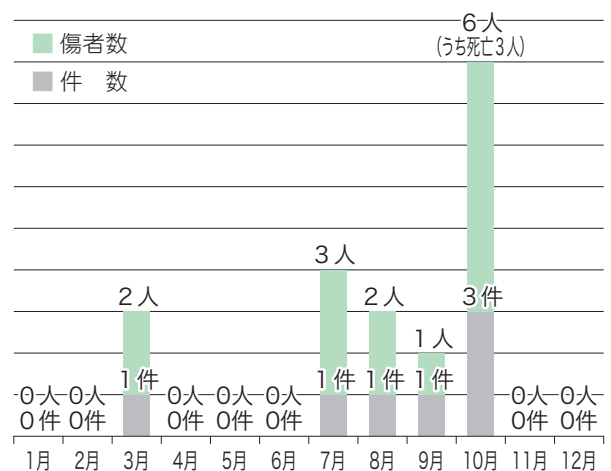
しかしながら、交通事故死者数が減少したとは言え、多くの尊い人命が交通事故で失われていることには変わりありません。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年一年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

年別町内発生交通事故の推移



月別町内発生交通事故の推移



**3人が死亡
11人が重軽傷**

長万部町内で昨年一年間に発生した交通事故件数は7件、死者数は3人、傷者数は11人で、前年に比べて件数が同等で、死者数が2人と傷者数は4人の増加となりました。

また、残念なことには5年連続で死亡事故が発生し、町外の方3人が高速道路で犠牲となりました。

北海道全体における交通事故死者数は158人で前年と比べて19人減少になっています。

全国交通事故死者数は、ワースト5位となり、昨年と同等となっています。

**交通事故の
多くは国道で**

道路別の発生状況では、国道で4件発生し、次いで町道が2件、高速道路で1件発生しています。

比較的通しの良い道路であることが、速度の出し過ぎや無理な追い越し、居眠り運転などの事故原因になっているものと思われます。

また、事故を起こしやすい場所としては、信号機のない交差点や、見通しの悪いカーブなどが一般的に多く、身近なところにも起きやすい場所があるので、見通しの悪いところでは、必ず一旦停止し、徐行運転を心がけましょう。

**前方不注意が
事故の原因に**

事故類型別の発生状況を見ると、7件中6件が追突や正面衝突、右折直進、出会い頭による車両相互の事故で、その中の正面衝突により3人の方が犠牲になっています。

法令違反別の発生状況では、7件全ての事故が前方不注意などの安全運転義務違反により発生しています。

便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になってしまいます。車を運転するときは、心に余裕をもって速度を抑え十分な車間距離をとり、適度な緊張感をもって運転しましょう。

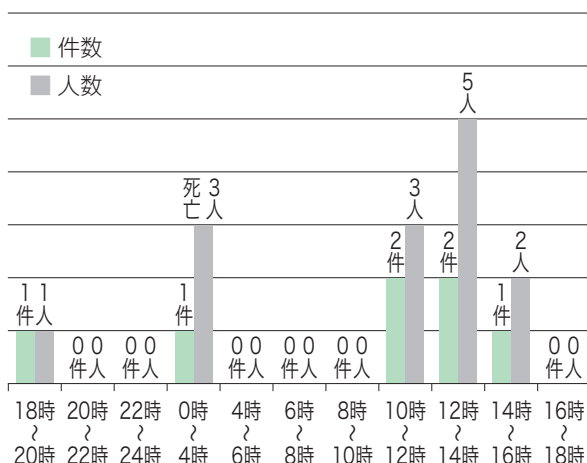


町民一人ひとりが交通安全意識を高め、悲惨な交通事故をなくしましょう！

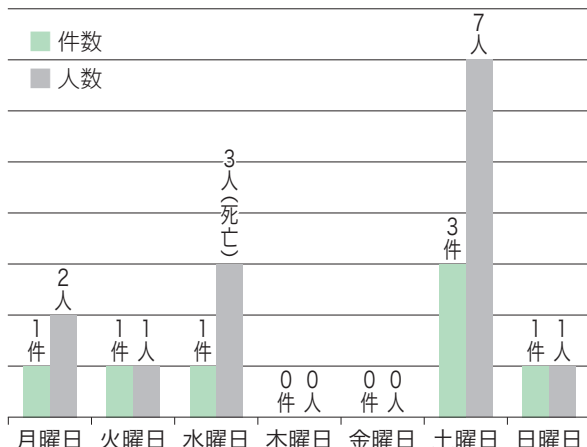


道 路 別	事 故 類 型 別	法 令 違 反 別	通 行 目 的 別
■国道 ・ 5号 [2件・4人] ・ 37号 [2件・5人] ・ 230号 [0件・0人] ■高速道 [1件・死亡3人] ■町道 [2件・2人]	■人対車両 [1件・1人] ■車両相互 ・ 正面衝突 [1件・死亡3人] ・ 追 突 [3件・6人] ・ 出会い頭 [1件・1人] ・ 右折直進 [1件・3人]	■安全運転義務違反 ・ 前方不注意 [2件・5人] (うち死亡3人) ・ 動静不注意 [1件・2人] ・ 前左右不確認 [2件・4人] ・ ブレーキ操作 [1件・2人] ・ 後方不確認 [1件・1人]	■通 勤 [2件・5人] ■ドライブ [1件・2人] ■買 い 物 [2件・2人] ■業 務 [2件・5人] (うち死亡3人)
※[発生件数・死傷者数]			

時間別事故発生状況



曜日別事故発生状況



ゆとりを持った安全運転で

時間別の発生状況では、7件中5件の事故が日中に発生しています。特に、10時から14時までの2時間が最も多い4件となっています。

曜日別では、木曜日と金曜日を除いた各曜日に事故が起きています。

通行目的別では、仕事やプライベートの目的に係わらずいずれも事故が発生しています。

目的は様々ですが、時間に余裕がないとスピードの出し過ぎや無理な追い越しが多くなり、その結果交通事故を起

疲れたときにはこまめな休憩を

長時間の運転は、眼や身体に疲労が溜まり、運転の精度にも悪影響を与えますので、疲労を感じたら早めに休憩を取りましょう。休憩を取ることで心身のリフレッシュができ、身体に溜まった疲労物質を減らすことができます。休憩中には、水分や糖分などを補給しておきましょう。

こす可能性が高くなります。日頃から、体調を万全にし、時間的・精神的に余裕を持って運転しましょう。

高齢者の加害交通事故が増えています

全国的に高齢社会が進み高齢運転者の交通事故が近年大きな社会問題となっています。加齢に伴い身体機能や判断機能が低下することで、安全確認行動をとっても相手車両を認識できなかったり、認識ができなくても行動予測ができなかったりすること、一時不停止による事故の割合が高くなり交差点で出会い頭事故を起こしやすくなりますので運転には十分注意しましょう。また運転に自信がなくなつたとか、家族から「運転が心配」と言われたら、運転免許証の自主返納を考えましょう。